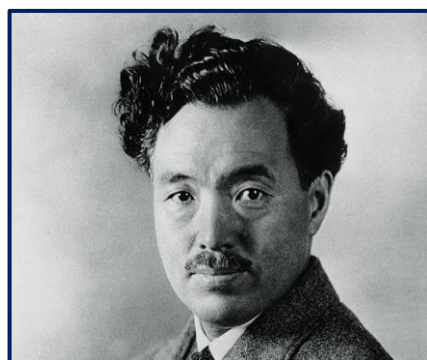


校長室の窓から

あなたの夢はなんですか？③ 3月5日朝会「校長先生のお話」から

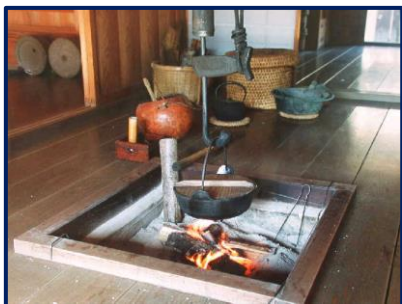
みなさん、おはようございます。今日はまたまた、「あなたの夢はなんですか？」という話をします。この話は、もう3回目だね。1回目は「大谷翔平選手がどうやって夢をかなえたか」、2回目は「戦争などの苦しい中で生活している子供たちの夢」についてお話ししました。3回目の今日は、「校長先生の夢」についてお話しします。ちょっと恥ずかしいけど、笑わないで聞いてくださいね。

みなさん、この人は誰だか分かりますか？6年生は分かりましたね。そうです。野口英世です。世界的に有名な医者・細菌学者です。福島県の猪苗代町で生まれました。6年生は今年、修学旅行で「野口英世記念館」に行ってお勉強してきましたね。記念館の方の出前授業もありましたね。



1・2年生さんは、これで見ただけで分かりますよね。そう、前の1000円札の肖像画になっていた人ですね。今もこのお札は見かけますね。それくらい有名な人なんですよ。

みんな、これ知ってるかな？おう、知っている人いたね。そうです。「囲炉裏（いろり）」といいます。校長先生が小さいころ、自分の家にもありました。今はあんまり見かけないですね。



英世の子供のころの名前は「清作（せいさく）」と言いましたが、清作が1歳の時、この囲炉裏に落ちて、左手に大やけどを負ってしまいました。大やけどってどんな風になったかというところ、このように「じゃんけんのグー」のように指が全部くっついてしまったんだね。指の先は炭火の熱で溶けてしまったかも……。それほどの大やけどです。

こんなになっても、お家ではお医者さんにかかるお金がなくて、お母さん（シカ）は清作を病院に連れていくことができなかったのです。

手術もできないまま清作は小学校に入ると、友達が清作の左手を見て「清（せい）ぼっこ」（※実際の言葉は定かではありませんが、“棒のような手”という意味合いの言葉で言われていたようです。）とからかわれ、よくいじめられていたようです。

みなさんだったら、同じような友達がクラスにいたら、どう声をかけますか？……。そうだよ。他の人と変わりなく、同じように声をかけるよね。左手が他の人と違ってたって何もおかしくないですね。左手がみんなと違うことは、目がよく見える人、見えなくて眼鏡をかける人があるのと同じで、一人一人違った個性をもっていて当たり前です。だから、からかったり、いじめたりすることの方がおかしいですよ。

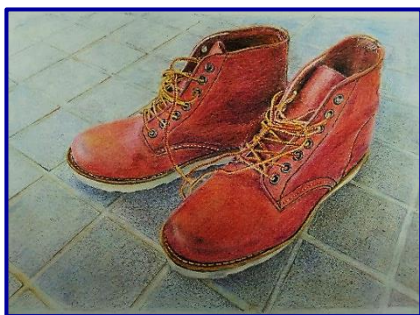
清作（英世）が病院で手術を受けることができたのは15年後の16歳の時です。英世は学校で誰よりも一生懸命勉強して成績優秀だったので、それに感心した学校の友だちや大人たちが手術代を集めて、

寄付をしてくれました。そのおかげでようやく手術ができたようです。実際の手術がこれです。指の部分を切りひらいて、広げた部分は、ここの腿の部分から2か所皮をとって、手のひらに縫い付ける「皮膚移植」をしたんですね。

実は、「校長先生も野口英世と同じだった」のです。えっ、・・・どうということ？校長先生も1歳の頃、囲炉裏に落ちて、両足に大やけどを負いました。英世の場合は、左手でしたが、校長先生は両足でした。手と足の違いはあるものの1歳の時に囲炉裏に落ちてやけどをしたのは同じです。さらに、校長先生も皮膚移植を受けました。英世は腿の2カ所から皮を手に移植しましたが、校長先生は両足だったので、腿の4カ所から皮をとって両足に移植しました。手足の違いはありますが、皮膚移植をしたことは一緒です。さっきの漫画で見たように、校長先生も母親には本当にたくさん心配をかけました。

赤ちゃんの頃の手術は覚えていませんが、小学校に入ると、夏にプールの時間がありました。水着になった時、友達が「うわ〜、お前の足気持ち悪い」って、よくからかわれました。それでも、プールにはずっと入り続けましたよ。こんなことでプールに入りたくないなんていったら、お母さんが悲しむだろう、と思ったからです。小学校3年の時、最後の手術をしたのは覚えています。最後は片方の足の手術でしたので、退院後は松葉杖をついて学校に行きました。最初の日、「また、みんなに言われるかな」って思いながら登校しました。でも、全く違いました。今まででかかっていた友達やクラスの全員がやさしくしてくれました。給食の準備や片付けも全部クラスの友達がやってくれました。「やっぱり、友達っていいな」って思いました。今でも、当時の同級生には感謝しています。

校長先生は小さいころ、何度か手術を受けてお医者さんに助けてもらったので「将来は、医者になりたい」という夢をもっていました。だけど、今は学校の先生をしています。人の病気やけがを治すことはできませんが、悲しんでいる人や困っている人の話を聴いて励ましたり、元気づけたりすることはできます。



これからの夢もあります。絵描きになって、その絵を見る人の心を癒す人になりたいです。

「夢はどんどん変わっていいのです。」「その夢は、すべて人々の役に立つものです」って前回の話でも言いました。「仲間と勉強するのも、夢をもつためです」とも言いましたね。覚えていますか？

みんなの代表、6年生の将来の夢も見てみようね。6年生が「将来の自分」をテーマに図工の時間に作った粘土の作品です。こちらは〇〇さんの「政治家」です。力強く意見を言っている感じがいいですね。こちらは、〇〇さんの「ウェディングプランナー」です。ニコニコ顔で、お客さんも幸せにしてあげられそうでいいですね。二人の将来が楽しみです。応援したいですね。他にもいい作品がたくさんありますから、3階の廊下にありますから、ぜひ観に行ってください。

野口英世はこういいました。「変えられるものが二つある。それは、自分と未来だ」と。さあ、もう少しで今の学年の勉強も終わります。一つ上の学年の準備ができるよう、まとめの勉強をしっかり頑張ってください。これでお話を終わります。

